

あかしSDGs推進審議会事前意見一覧

◆柱1「豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める」

効果的に施策が展開されているか (4名・5件)

- ・KPI(ごみ排出量の削減、公園面積の増加)にも表れているとおり、効果的に施策が展開されていると考える。
- ・KPI 温室効果ガス排出量について、施策と現状値の年次が整合していないので因果関係が判断できなかった。
- ・脱炭素 KPI で不十分との評価。これは温暖化対策で喫緊の課題と感じる。
- ・KPI ごみの排出量について、市民が輩出したゴミと、来街者が輩出したゴミ、また地域産業などの経済活動を通じて排出されるゴミ、これらの内訳が不明であった。もし合算されているのであれば、産業や観光が衰退するとこの KPI は良化する構造にあるので、こちらもまた施策と現状値の因果関係が不明瞭だと感じた。
- ・例えば、「17号池魚住みんな公園」は、誰もが使いやすいよう工夫され、「やさしいまち」のシンボルのようになっている。

今後力を入れて取組を進めてもらいたいこと (4名・13件)

- ・既存住宅の断熱と太陽光パネルの設置を、何とかできればエネルギー地産地消を実現することができるのではないかと思う。
- ・転入者等の住宅建設が増えている。しかし、太陽光パネルを上げている家は少ないと感じる。新築のタイミングが ZEB 化のチャンスであるので、義務化も含めて条例を作って欲しい。
- ・今年の夏の極暑で、野菜等農産物が影響を受け、質も量も影響を受けた。田畑、ビニールハウスにソーラーシェアリングを設置すれば、そこで使う水撒きポンプ等の動力になると同時に日陰を作り植物の日焼け害にも、労働者にも優しいので、積極的に設置を提言する。
- ・真夏日が4ヶ月以上も続くので、駐車場に車を停めると暑くて、熱中症等の事故につながる恐れがある。商業施設、公共施設、事業所等の駐車場に屋根を付け太陽光パネルを設置するように提言する。電気供給ステーションがどこでもある安心感が電気自動車の普及につながると思う。
- ・災害のリスクが更に高まることに対応すべく防災対策も兼ねた公立小、中体育館の太陽光パネル設置を推進する。→脱炭素推進、住民の命を守る。
- ・地球温暖化対策実行計画は、実現すれば素晴らしい計画である。しかし、今年の夏、私たち市民ですら、気候変動のスピードに驚いており、国連事務総長もこの気候変動を地球沸騰化と表現されている。2030年までに48%の脱炭素社会の実現に向けて危機感を持って取り組む必要があるのではないかと思う。
- ・ゴミの削減について、ペットボトル等のプラスチックは、リサイクルに限度があるので、できるだけ容器持参の習慣を市民に勧める。
- ・「指定ごみ袋制」の導入を通じたごみ排出量削減、並びに資源の有効利用の促進

- ・計画中的新ごみ処理施設における(適正な)高効率電力回収技術の採択
- ・明石川の有機フッ素化合物汚染問題が発覚している。川は海と繋がっています。地下水の亀の水からもPFAS 検出されました。海洋汚染もあるのではないかとと思うと心配である。明石市は、のり、たこ、いかなご、鯛等の海産物が自慢であり、早く対策を立てたい。
- ・豊かな海づくりの推進について、明石市内の水産加工会社は、加工の際に出た水産資源ゴミを市外の業者にお金を払って回収してもらっている状況である。海の栄養を増やすために、この点を市内で循環させてもらいたい。明石の海で獲れた海産物も加工を経ると産業廃棄物として認定されているが、貴重な海の栄養素としてどのように明石の海に戻すのか、その手法を整備して推進して欲しい。
- ・地球規模で豪雨、干ばつ、山林火災等の災害が起きているので、明石市としてもグローバルな視点を持って欲しい。食物自給率が少ない明石市は、飢饉の対策も今から考えておかなければならないと思う。
- ・展開の方向2「循環社会の実現」、3「自然環境の保全と活用」について、重要なキーワードを施策や KPI に反映し、市民や企業が柱1に対して取り組みやすいように補助線を引いてあげられないかと考える。重要なキーワードとして、ネイチャーポジティブ、TNFD、30by30、生態系サービス(特に行政サービスとのバランスを意識できるような促しや、基盤サービス・供給サービス・調整サービス・文化的サービスを生態系サービスが含んでいることについての啓蒙が必要)などを市からの発信に取り入れていただきたい。

◆柱2 「笑顔あふれる共生社会(インクルーシブ社会)をつくる」

効果的に施策が展開されているか (2名・2件)

- ・全体として僅かずつではあるが目標に向けて歩んでいると考える。
- ・KPI で一点△があるが、どれも一通り施策が進んでいると感じている。

今後力を入れて取組を進めてもらいたいこと (2名2件)

- ・まちづくりに関しては、認定した校区に対し規則ルールは必要だが、運営に関して自主判断出来る範囲が合っても良いのではないかと
- ・「あかしユニバーサルモニター」「インクルーシブアドバイザー」を、まちづくりにおいて、柔軟に活用

◆柱3 「こどもの育ちをまちのみんなで支える」

効果的に施策が展開されているか (2名・2件)

- ・KPI 数値から判断して改善が見られる。
- ・僅かずつではあるが目標に向けて歩んでいると考える。

今後力を入れて取組を進めてもらいたいこと (2名・2件)

- ・今新しい教育目標の一つは子ども自身が課題を見つけ、解決していく能力アップ(コミュニティ・スクールもその一環)を 2025 年度計画に盛り込む。
- ・明石商業 福祉科と、市民との連携や実践

◆柱4 「安全・安心を支える生活基盤を強化する」

効果的に施策が展開されているか (2名・2件)

- ・交通事故死傷者数の KPI を除き、僅かずつではあるが目標に向けて歩んでいると考える。
- ・KPI でやや不十分な評価の交通事故については、警察の自転車対策厳格化に期待？

今後力を入れて取組を進めてもらいたいこと (3名・3件)

- ・今年 10 月に更なる徹底に向けて法改正されたが、自転車のスマホながら運転禁止の徹底策の採択。日常生活において「ながら運転」が多く見られる。
- ・災害時要配慮者への個別支援の枠を広げ、住民主体の防災・減災対応力アップを支援する。
- ・「安全・安心な水の供給」(参考資料2-P.13)の観点から今日的課題である明石川流域のPFAS汚染の実情と対策を市民と公表していく必要がある。

◆柱5 「まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す」

効果的に施策が展開されているか (3名・3件)

- ・市内総生産については社会全体の包括的な要因に大きく左右されるとも考えられるが、KPI の各進捗状況からみても何らかの新たな改善促進策の取組みが求められると考える。
- ・KPI 市内総生産の推移を見る限り、展開の方向について抜本的に見直しを図る必要性を感じる。こちらの数字が市町村内の生産活動により生み出された付加価値の総額である以上、これを伸ばすための明確な戦略が必要だと思われる。
- ・本のまち明石は強くアピールしているし、校区で実施している「くすのん文庫」を見ていてると意外に△だった。

今後力を入れて取組を進めてもらいたいこと (5名・6件)

- ・地域特産物の更なる消費拡大へ向けた宣伝や啓蒙を通じた地域産業の活性化
- ・「ひこにゃん、くまモン」などに匹敵する「パパたこ」を超える新たな地域キャラクターマスコットの開拓を通じた地域の活性化
- ・図書館等とあるので、図書館貸し出し数だけの評価から夢文庫を含むブックスポットでの活用をカウントできないか？
- ・本のまち明石の推進のためには施設整備のみならず、蔵書の充実を図る必要がある。
- ・林崎町3丁目の住宅からの景色が素晴らしい。住宅の主は近年他市より移住された建築家の方である。再生回数が 450 万回を超えるこの投稿がきっかけで、この方の自宅兼事務所には建築を学んでいる学生が海外からもインターンシップで訪れるようになった。しかし、この景色は間もなく失われる。住宅開発を前提として目の前の土地が売買されたからである。1994 年に策定された都市景観形成基本計画は、このような事態を防ぐことはできなかったのかと悔やまれる。市内総生産を向上させるためには合理的な付加価値戦略が必要である。私は大蔵海岸でバーベキュー場を運営しているが、運営を始める前年の 2008年から比較し、今日現在においては年間で 12万人以上の集客増を達成している。大蔵海岸はたった500mの長さである。投入するリソースが付加価値という成果として大きく跳ね返ってくる場所を発見し、手を打つ必要がある。そして明石の海を借景として上手に切り取ることで効率的に付加価値が生ま

れることは、先の2つの例だけ見ても自明であると考え。具体的な戦略の立て直しを強く希望する。

- ・今後、大蔵海岸の「ユニバーサルビーチプロジェクト」に取り組むと聞いたが、ハード面・ソフト面の両面からバランス良く整えることが肝心。これまで諦めていた人にも行きやすい海岸にしてほしいと願う。

◆計画の推進

効果的に施策が展開されているか (3名・3件)

- ・個々に進捗の差異は何えるものの、総じて目標設定に向けての施策が鋭意展開されていると考える。
- ・全体的に見るとまずまずと思われる。
- ・各柱においての施策はそれなりに展開されていると思う。しかし、それ以上に気候変動が進んでおり、施策が間に合っていないのではないかと思う。

今後力を入れて取組を進めてもらいたいこと (2名・2件)

- ・どの柱も大切であるが、次年度計画(予算)では是非メリハリを付けて欲しい。特に災害対策、子どもの教育に。
- ・次代の担い手である子どもたちにSDGsの必要性を学校教育の中でも啓発していく必要がある。